

旅立ちの言葉

校庭の木々の蕾も膨らみ始め、春の兆しを感じる今日、私たち54名は卒業の日を迎えました。本日は、私たち卒業生のためにこのような温かな卒業式を開いてくださり、誠にありがとうございます。人数が少ないながらも私たち54名は先輩方にも負けない強い思いを抱き、今日まで御園中学校の伝統を受け継いできました。仲間とともに過ごした三年間は数え切れないほどの素敵な思い出に溢れています。

新たに始まる中学校生活に胸を膨らませ入学した三年前、小学校とは違う環境に戸惑い、新しい仲間との出会いに緊張していた人もいたと思います。そんな中行われた初めての運動会。どうすれば良い点数をとれるか自分たちで考え、試行錯誤することはまだ幼かった私たちにとって簡単なことではありませんでした。しかし、お互いに意見を出し合うことで本番では最大限の力を発揮することができ、クラスの仲も深まっていったと思います。中学校生活初めての宿泊行事、移動教室では、運動会で深めた仲を活かし2日間過ごすことができました。この学年の色が鮮明になってきたのも移動教室がきっかけだったと思います。ものづくり体験では、わからないところを教え合ったり道具を平等に使いまわしたり、お互いを尊重した行動が多く見られました。誰かが困っているとき一人になっているときに手を差し伸べること、これは当たり前のように感じますが当たり前に行えることが普通ではありません。誰とでも同じように接し、学年全体が一つのクラスのように仲が良いところがこの学年の魅力だなと感じました。お互いを思いやった行動ができたからこそ、私たちは自分たちの手で移動教室を素敵な思い出にすることができたと思います。

お互いの性格や個性がわかってきた二年生。中学校生活にも慣れ始め、学習面でも生活面でも気の緩んでしまう人が多かったと思います。そんな中迎えた合唱祭。合唱練習が始まると、顔つきがガラリと変わり、熱心に練習していたことを今でも覚えています。お互いを深く知るようになったことで、相手に合わせたアドバイスの仕方を工夫したり責任を感じすぎているか声をかけあったり、周りを気遣って行動する姿がたくさん見られました。そんな私たちの合唱は三年生の迫力ある合唱には届かなくとも、成長を感じさせるような歌声だったと思います。来年自分たちが三年生になった様子を想像し、先輩を超える合唱をするとみんなが決心したあの瞬間は、忘れられない大切な思い出です。それぞれが「自立」するきっかけになった職場体験。自分の興味のある分野を選択し将来に向けた一歩を踏み出しました。自分たちだけで事業所を訪問し、仕事を体験することは緊張でいっぱいでしたが、日を重ねるごとに仕事に慣れ、事業所の人とも打ち解けることができました。新しい環境で上手くやっていく力はこれから先の人生において欠かせないものです。中学校でこの力を身に付け、自立した私たちは高校生活でも社会に出た後でも充実した日々を過ごすことができると思います。私たちに学ぶ機会を与えてくれた先生方や事業所の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

三年生では、受験という大きな壁に、全員で挑みました。きっと一人一人、自分の歩んだ道があることでしょう。その道は平坦に歩めた人もいれば、谷を通った人、山を乗り越えた人、様々な人がいると思います。しかし、この一年間は大変であった一方、楽しく、充実していた一年間であったと思います。この一年を思い返すと、最初に頭に浮かぶのは、五月にあった京都・奈良への修学旅行です。三年間ともに過ごした仲間と共に京都、奈良のように歴史の深い場所で三日間を過ごせたのは、一生の思い出です。運動会、御園祭は三回目ですが、いずれも私達にとっては最後で、昨年までとは違い、より真剣な気持ちで臨むことができました。それも、どちらのクラスも大きな団結感を得ることができたと思います。受験生としての一年はとても大変で、ときには不安、孤独感など、負の感情に心が支配されることがあった人もいます。その中でも、前に進み続けることができたのは、行事や日々の生活の中で、仲間の支えがあったからだと思います。「雨降って地固まる」。困難に直面しながらも、私達の多くが成長し、心の底から楽しめた一年になったと思います。

三年生の皆さん、三年間ありがとうございました。三学年が始まる前は、五十人しかいない学年では、百人近くいた先輩方に部活、委員会など、様々な面で追いつけるか心配でした。しかし、今立ち返ると、その心配は無用のものだったと思います。人数が少なかったからこそ、私達は団結することができ、一人ずつが二人分の力を持つようになっていたと思います。委員会や部活動、様々なところで私達は成長し、今では堂々と、最高学年として振る舞えるようになりました。日常生活に関しても、全員仲良く、明るく、とても雰囲気の良い学年だったと思います。一、二、三年生と、様々な行事がありましたが、その一つ一つを心の底から楽しめたのは、三年生一人一人の存在があったからこそだと思います。ここで出会った仲間全員は、この先の人生でもきっと頼れる仲間です。御園中学校での出会いに感謝し、これからも仲間を大切にしていきます。

在校生の皆さん、3年間は思っている以上にあっという間に過ぎてしまいます。ギリギリになってから気付いても間に合わないこともあります。私が皆さんに最後に伝えたいことは自分の後悔しない毎日を送ることです。これから先、人生の分岐点は何度もあります。進路選択もそのうちの一つです。自分の好きなことはなにか、興味のあることはなにか、自分と向き合う時間を是非増やしてみてください。やりたいことが明確にならない人は自分のやりたいことが見つかるその日のために今一生懸命になってください。やりたいことを見つけたとき、学力がたりないからという理由で夢を諦めてしまうのはとてももったいないことだと思います。やりたいことが見つからないからこそ誰よりも努力して、将来の自分のために行動を起こしてみてください。やりたいことを見つける上で一番大切なのは挑戦することです。「やらぬ後悔よりやる後悔」という言葉があるように、やらなかったことを後悔してしまうより、成功する少しの可能性にかけ、挑戦するほうが例え後悔したとしても、自分自身を成長させてくれると思います。やり直しのきく私たちには挑戦させてくれる環境があります。ぜひどんなことにも積極的に挑戦してみてください。自分が卒業を迎えたとき、やりきれたと自信を持って言えるような3年間を過ごしてください。ここまで私たち3年生についてきてくれて、本当にありがとうございました。

先生方、ここまで私たちを支えてきてくださり本当にありがとうございました。今の私たちがあるのは御園中学校でお世話になった先生方や事務員の皆さん、主事さん方のお陰です。先生方のお力がなければきっと自分自身ここまで成長することはできていなかったと思います。ときには相談に乗っていただくこともありました。いつも私たちのことを一番に考え、親身になって寄り添ってくれた先生方には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。先生方とお別れすることは本当に寂しいですが、3年間で教わったことを胸にこれから先も頑張っていきます。御園中学校に入学して良かったと心の底から思います。本当にお世話になりました。

ここまで中学校で三年間を過ごすにあたり、私達には保護者の方々の支えがあったことを忘れてはならないと思います。今身につけている制服、普段使っているカバン、靴など、様々なものがあるのも、保護者の方々がいるからです。毎日を何気なく生きてると、当たり前のように感じますが、決して当たり前ではないことだと思います。今年受験もある一年で、支えてもらう場面が多くあったと思います。普段は中々言う機会がありませんが、代表してお礼を言わせていただきます。これまで、本当にありがとうございました。そして、これからも私達を近くで見守って、応援しててください。

御園中学校での三年間は短く感じますが、振り返ってみれば様々な行事や思い出が詰まった、とても密度の高い三年間でもあったと感じます。御園中学校での三年間は、自分にとって宝物のような時間でした。行事などでなくても、日々のさりげない談笑、飛び交う冗談、そんなこと全てが大切な思い出となりました。今日以降はその思い出をこれ以上つくりたくない、と考えると悲しい限りです。しかし、私達は進まなければなりません。御園中学校でそれぞれが培った多様な力は、今後の高校生活、大学生活、そしてその先の人生でも活かすことでしょう。私達は友人、後輩、先生、そして保護者、様々な人の応援を受け、今日この日を迎えています。その全てに感謝し、御園中学校という肩書きを背負い、これからの未来へ進んでいきます。

最後になりますが、今の私達があるのはこれまで支えてくださった皆様のお陰です。私たちの成長に携わってくださったすべての方々、そして3年間私たちを見守ってくれた御園中学校に感謝するとともに、これからの御園中学校のさらなる活躍を願って旅立ちの言葉とさせていただきます。

令和七年三月十九日

卒業生代表